

〈第7部番外編：付録〉

番外編3. 『ロミオとジュリエット』

〈日本語訳〉

ジュリエット

ああ、ロミオ、ロミオ、あなたはどうしてロミオなの？
父を捨て、あなたの名を捨ててください。
もしそうしないのなら、ただ私の恋人だと誓ってください。
そうすれば、私もキャピュレット家の一員であることをやめます。

ロミオ

[傍白]もっと聞こうか、それとも今話しかけようか？

ジュリエット

私の敵であるのはあなたの名前だけ。
あなたがモンタギュー家の一員でないとしても、あなたがあなた自身であることにかわりはありません。
モンタギューって何？ それは手でも、足でも、
腕でも、顔でも、人間の体の
どの部分でもありません。ああ、何か他の名前になって下さい！
名前の中には何があるの？ 私たちがバラと呼ぶものは、
他のどんな名前でも呼んでみても、甘い香りがすることに変わりはないのに。
だからロミオも、たとえ彼がロミオと呼ばれなくとも、
あの持っている美しい完全さは
その名前なしでも変わりありません。ロミオ、あなたの名前を脱ぎ捨ててください。
そしてあなたのどの部分でもないあなたの名前の代わりに
私の全身を受け取ってください。

ロミオ

あなたの言葉通り、私はあなたを受け取ります。

ただ私を恋人と呼んで下さい。そうすれば私は新たな洗礼を受けることになるでしょう。これからは私は決してロミオではありません。

ジュリエット

あなたは誰、このように夜に隠れて
私の秘密にめぐり会ったのは？

ロミオ

名前では
私が誰なのかをどうやってあなたに告げるべきか私にはわかりません。
私の名前は、愛しい聖女よ、私自身にとって憎ましいものなのです。
なぜなら、それはあなたの敵だからです。
私の名前が書かれたものならば、私はその言葉を破り捨てるでしょう。

ジュリエット

私の耳は、あなたの口から出たお言葉を、まだ百語とは
飲み込んでいません。でもそのお声は知っています。
あなたはロミオ、モンタギュー家のお方ではありませんか？

ロミオ

いいえ、美しい聖者よ、どちらの名前もお気に召さすのなら、そのどちらでもありません。

(野村忠央訳)